

A 最後の一文

標準の土台 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。別解・許容は使える表現や内容の例です。完成答案は指定字数・条件を満たしてください。

問1 心情の根拠

答え：イ

解説 「忘れ物」は実際の忘れ物ではなく、捨てられる店の品と結び付いた思い出のたとえ。②の反発、①末の新しい名前への抵抗も根拠になる。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問2 複雑な心情

答え：ア

解説 「店を続けたいと頼むつもりはなかった」と「私だけが片付けを遅らせているよう」の両方を読む。閉店への抵抗が単純な営業継続の要求とは異なる。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問3 会話と行動

答え：ウ

解説 ③では器具が小さくなったことに反発し、⑤で相手に合わせて待つ祖父の撮り方を捉え直している。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

A 最後の一文

標準の土台 | 解答・解説 | つづき

問4 対比する表現 12字

答え：撮影が進まない余計な時間

解説 弟が泣くと撮影を中断したことへの、過去の評価である。「今は」との対比に注意する。
採点の目安 指定の表記・範囲・字数のすべてを確認する。

問5 描写と余韻

答え：ア

解説 理解や変化と、未整理の愛着とが共に残る終わり方。「まだ少し」から全部解決したと断定しない。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問6 行動理由 解答例 65字

解答例：布を持って祖父の撮影を手伝い、道具の立派さより相手の自然な表情を待つ撮り方に気付いたため、その経験に結び付く布を残したかったから。

解説 ④の布の働きと⑤の待つ時間の見直しが、単なる古い品の保存と異なる理由を示す。
別解・許容 「相手に合わせる祖父の仕事を受け継ぐ手がかりにしたい」も可。本文にない形見や祖父の死を加えない。
採点の目安 布を持って撮影を手伝った経験、祖父の撮り方への理解、その経験を残したい気持ち。必要な内容が一部だけなら、その点を確認して補う。指定字数と表記も確認する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

A 最後の一文

標準の土台 | 解答・解説 | つづき

問7 離れた場面の比較 解答例 72字

解答例：初めは大きな道具や店の形が失われることに反発していたが、祖父の撮り方に触れ、店名を全部写すことより祖父の顔が明るく見える位置を選ぶようになった。

解説 ③のカメラへの反発と⑦の名前の一部を画面から外す選択を対照させる。

別解・許容 道具や看板という「形」から、目の前の人の写り方へ関心が移ったというまとめも可。

採点の目安 変化前、祖父の撮影を手伝ったきっかけ、顔を優先する変化後。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問8 構成と表現効果 解答例 70字

解答例：祖父と同じように一度撮影を止めて相手の顔の見え方確かめる動作を重ね、祖父の撮り方を見直した私が、自分でもそれを試し始めたことを伝えている。

解説 動作の一致だけでなく、撮る前に相手をよく見る点の共通性を述べる。

別解・許容 「撮り方を受け継ぎ始めた」も可。「祖父と同じ技術を完全に身に付けた」は言い過ぎ。

採点の目安 繰り返される動作、相手をよく見るという共通性、自ら試す変化。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

B 二本の数字

標準 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 設定と心情

答え：イ

解説 ①末の先延ばしと、自分で時計を借りた②の事実を合わせる。医師の許可は出ている。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問2 動作の意味

答え：ウ

解説 追い越され、追い付こうとすると呼吸が乱れる場面。速さの比較を避ける動作として読める。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問3 読みの範囲

答え：エ

解説 沙季自身が話した事実を限定して読む。「寂しい」とも「退会する」とも明言していない。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問4 気付きの抜き出し 10字

答え：全部うまくいっている

解説 大会の結果から生活や気持ちまで順調だと決めていた。それを会話によって見直す。
採点の目安 指定の表記・範囲・字数のすべてを確認する。

問5 人物関係

答え：ア

解説 以前は当然だった五十メートルと対照的。真帆は再開直後で、自分から一本計ってほしいと頼んでいる。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

B 二本の数字

標準 | 解答・解説 | つづき

問6 会話の転換 解答例 67字

解答例：沙季も新しい教室で以前と違う時間を過ごしていると知り、順調な相手と遅れた自分という見方が揺らいで、自分の不安も話せるようになったため。

解説 「全部うまくいっている」という見方の修正が、次の率直な発言につながる。沙季が不幸だと決め付けない。

別解・許容 「沙季を大会の結果だけで捉えなくなり、弱さを隠さず話せた」という趣旨も可。

採点の目安 沙季の新しい環境の話、一方的な相手像の見直し、自分の不安を話す変化。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問7 結末の行動 解答例 68字

解答例：初めは速さが落ちた自分を確認めることを避けていたが、以前より遅い結果でも選び直さず記録し、今の自分の泳ぎをそのまま見つめようとしている。

解説 時計を裏返す行動と、二本の記録を残す行動を比べる。「満足している」「競争を完全に捨てた」とは限らない。

別解・許容 「結果を隠したりよく見せたりせず、次に泳ぐ出発点として受け止める」も可。

採点の目安 変化前、二本をとともに残す行動、現状に向き合う姿勢。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問8 結末の会話 解答例 65字

解答例：すぐに次の予定を決めて自分を追い込みたくはないが、沙季との関わりを避けるつもりはなく、今度は相手の泳ぎも支えながら一緒に泳ぎたい。

解説 「約束を重くしてしまいそう」と「私も計る」を共に読む。日程の保留と関係への前向きさは両立する。

別解・許容 「自分のペースを守りつつ、互いに計り合う関係が続けたい」も可。

採点の目安 予定を即決しない理由、関係が続けたい気持ち、一方的に支えられるだけではない関係。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

C 汽笛の手前

発展・応用 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 語り手の感覚

答え：ア

解説 引っ越しへの感情が二つの定型的な答えに収まらないという感覚。隠された事情を補わない。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問2 場面展開

答え：イ

解説 電池をもらう→場所の助言→並んで待つ→会話という、後の展開へのつながりを押さえる。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問3 推測の限界

答え：エ

解説 ア～ウは描かれた事実。エは特定の心情と理由を一つに断定しており、語り手も直接確かめていない。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問4 認識の変化 12字

答え：知らない陸の時間があった

解説 普段一緒にいても知らなかった陸の関わりを発見する。単に港を初めて見たのではない。

採点の目安 指定の表記・範囲・字数のすべてを確認する。

問5 語りの働き

答え：ウ

解説 現在の会話から過去の記憶が呼び起こされる。陸が速さを落とし、追い付くと笑う行為が関係を示す。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

C 汽笛の手前

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問6 複数箇所の統合 解答例 76字

解答例：初めは島にいる気分を再現するため汽笛だけを求めたが、陸との会話や共有した記憶に触れ、この朝に戻れなくても、二人の未完のやり取りが残る音を持ちたくなった。

解説 純粋な汽笛へのこだわりから、関係を含む一回限りの音への変化を捉える。

別解・許容 「不完全な声も、その朝の二人らしさとして残したくなった」も可。

採点の目安 変化前の音と目的、会話・記憶というきっかけ、変化後の音と意味。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問7 言いさしと余韻 解答例 71字

解答例：別れに際して言葉にし切れない思いを抱える僕に対し、陸は無理に説明を求めず、一緒に録音を聞くことで、言えない部分もそのまま受け止める関係である。

解説 語られなかった具体的な約束を創作しない。聞き返さない行動を、僕がありがたく感じたことを根拠とする。

別解・許容 「無理に言葉にさせず、伝え切れない気持ちを残したまま一緒にいられる」も可。

採点の目安 言い切れない僕の思い、聞き返さない陸の対応、それが受け止めとして働く関係。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問8 題名と構成 解答例 76字

解答例：島を再現するための汽笛という一般的な音より、日付で区切られるこの朝に陸と過ごした時間を大切にできるようになり、録音を二人の関係が残るものとして捉えたこと。

解説 ②ではどこでも再生すれば島にいる気分になれる音を求め、⑦では一回限りの朝と二人を名付ける。

別解・許容 「戻れない朝の記録」「陸と自分の声を含む記憶」とまとめても可。

採点の目安 初めの再現目的、日付の示す一回性、「二人」の示す関係への重心。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

D 返したあとの話

入試形式テスト | 解答・解説 | 100点満点

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。記述の配点と減点は各問の採点基準を確認してください。

問1 行動の根拠 [8点]

答え：イ

解説 「封筒を渡せば今夜の用事が終わってしまう気がして」が直接の根拠。関係を続けたい気持ちがかかる。

採点の目安 正答8点。

問2 会話と配慮 [8点]

答え：ウ

解説 語る直前に「圭が選んだことではない」と捉え直し、現在の道について質問している。

採点の目安 正答8点。

問3 情景描写 [8点]

答え：ア

解説 現実には曇天、二人は沈黙、映像だけは晴れた空が動くという対照。現実の天候の回復は書かれていない。

採点の目安 正答8点。

問4 表現の抜き出し [8点] 10字

答え：同じものを見て笑った

解説 過去の共同の失敗を思い出し、二人が同じ写真を見て笑っている。末尾の句点は含めない。

採点の目安 指定の表記・範囲・字数がすべて一致して8点。

問5 構成の役割 [8点]

答え：エ

解説 ②では返すと用事が終わると思った写真が、⑤では共有する記憶と会話を生む。

採点の目安 正答8点。

D 返したあとの話

入試形式テスト | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 動作と関係〔20点〕 解答例 71字

解答例：圭がもう同じ坂を下って帰る相手ではないと改めて感じて戸惑ったが、別々の帰り道になった今も一緒に過ごす時間を持ちたいと思い、駅まで送ろうとした。

解説 右の駅と左の昔の坂の対比、および早いバスを選べた事実をつなぐ。

別解・許容 「以前と変わった関係の寂しさを感じつつ、今できる関わりを選んだ」も可。

採点の目安 帰路の変化への気付き6点、戸惑い・寂しさ6点、一緒に時間を過ごす気持ち8点。内容点の合計から、字数範囲外は2点、意味に影響しない誤字・脱字は合計1点を減点する。各問の下限は0点。

問7 二つの場面の比較〔20点〕 解答例 79字

解答例：初めは写真を返す用事がなくなればつながりも途切れるように感じていたが、共有した記憶を話し今の予定を交換する中で、用事だけによらず関係を続けられると思い始めた。

解説 同じ写真の返却前と返却後と比較する。昔に完全に戻ったのではなく、現在の生活も含めてつながる。

別解・許容 「返却が別れの合図ではなく、その後にも会話が続けると実感した」も可。

採点の目安 変化前6点、記憶と現在の話の交流6点、用事がなくても続く関係8点。内容点の合計から、字数範囲外は2点、意味に影響しない誤字・脱字は合計1点を減点する。各問の下限は0点。

問8 結末の評価〔20点〕 解答例 87字

解答例：互いの予定を知らせ合おうと話しており、今すぐ同じ計画に合わせなくても関わりを続ける意志があるため、星を決めない終わり方は、別々の生活を認めながら次の時間を残す姿勢を示すから。

解説 「そっちの予定も送って」という圭の返答が重要。未決定を拒絶と同一視せず、本文の根拠で判断する。

別解・許容 「予定や撮る星を急いで確定させず、次の機会を二人で考える余地がある」も可。

採点の目安 予定を知らせ合う根拠8点、即決しなくても続く意志6点、違う生活を認める結末の意味6点。内容点の合計から、字数範囲外は2点、意味に影響しない誤字・脱字は合計1点を減点する。各問の下限は0点。